

# 同窓生からの手紙

29年度  
文部科学大臣  
優秀教職員表彰  
受賞



あ だちしょうご  
**足立昭吾**さん

兵庫県立和田山特別支援学校教頭

水上町(現丹波市)出身。平成22(2010)年、修士課程心身障害コース、30(2018)年に専門職学位課程学校経営コースを修了し、4月から現職。

## 2つのコースで学び、得られた一番の宝は人とのつながりです



←スクールバスの見送り

大学院では二つのコースで計4年間学ばせていただきました。今のキャリアの全てを兵教大での学びがカバーしてくれていると感じています。大学院で得た一番の宝は、「一人とのつながり」です。県内各地、そして県外の先生方と同じ空間で議論したり、協力して課題レポートを作り上げたりした経験はとても貴重なものでした。同期の仲間だけではなく、教員の皆さんとの出会いもありました。専門的な知見からのアドバイスは、知らないことに気付いていないことに気付かされ、自

分の中にすっと染み渡るものがありました。自身で調べ、考えをまとめて発表し、議論を通じてフィードバックを得る。その繰り返しの中で、分散しがちな議論の方向性を集約する力も身に付いたように思います。この習慣化された思考力は、管理職としての今の仕事にとても役立っています。当時間係してくださった方々との交流は今もあり、そこでは新しい気付きという出会いがあります。大学院で培った人脈と知識は、今後も良い刺激をもたらしてくれるだろうと確信しています。

## LETTERS FROM OB



のほり みつひろ  
**登光広**さん

加東市立福田小学校長

大阪市出身。昭和59(1984)年、学部3期生として学校教育学部社会系専修コースに入学。卒業後、大学のある加東郡(現加東市)の公立小学校教員に。県教委・市教委を経て、平成29(2017)年度から現職。

## 積極的に行動した経験が今の糧になっています



→校長として初めての卒業証書授与式

学 校経営を委ねられて、1年が過ぎました。今、校長として、「人は言葉だけでは動いてくれない」ということを改めて実感しています。校長が明確なビジョンや方向性を言葉で示すことは大切ですが、その上で、少しでも先生方や子どもたちの助けになればと、自ら行動することを心掛けています。

多様なアルバイトをした中で、積極的に動くことで多くの人と信頼関係を築けた経験から生まれています。今年、創立40周年を迎えた兵教大。在学当時、コンビニはもちろんファミレスもなく、大学生には不便な所でした。友だちと夜中に、「○○○へ行こう」と歌いながら須磨のファミレスへよくドライブしていました。私の行動力は、ひよっとしたらこの経験が生きているのではと、当時を懐かしく思い出しています。後輩の皆さんも学生時代に多くのことを経験し、自身の将来の糧にしてください。

### ▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

#### 第38回

#### 大学院同窓会総会・研究大会【鳥取大会】の開催

大学院同窓会総会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は鳥取県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月4日④・5日⑤
- ◎会場 ANAクラウンプラザホテル米子(鳥取県米子市)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表  
講師: 福田光完学長、平井伸治鳥取県知事  
巡検: 選択型①コース「日本遺産を訪ねる」、②コース「鬼太郎の町を訪ねる」